

**新** 日本语能力考试  
**N1** 读解强化训练  
**解析版**

**10回读解全境模拟 夯实基础 挑战高分**

主 编◎许小明 Reika  
编 著◎新世界图书事业部



华东理工大学出版社  
EAST CHINA UNIVERSITY OF SCIENCE AND TECHNOLOGY PRESS

**新** 日本语能力考试  
**N1** 读解强化训练  
**解析版**

10回读解全境模拟 夯实基础 挑战高分

主编◎许小明 Reika  
编著◎新世界图书事业部

**图书在版编目(CIP)数据**

新日本语能力考试 N1 读解强化训练(解析版)/许小明,(日)Reika 主编. — 上海:华东理工大学出版社, 2011. 4

ISBN 978-7-5628-3013-9

I. 新... II. ①许...②Reika... III. 日语-阅读教学-水平考试-习题集 IV. H369.4-44

中国版本图书馆 CIP 数据核字(2011)第 042942 号

## 新日本语能力考试 N1 读解强化训练(解析版)

主 编 许小明 Reika  
编 著 新世界图书事业部

项目负责 / 陈 勤 王 娟

责任编辑 / 王 娟

责任校对 / 李 晔

封面设计 / 戚亮轩

出版发行 / 华东理工大学出版社

地 址: 上海市梅陇路 130 号, 200237

电 话: (021)64250306(营销部)

(021)64252717(编辑室)

传 真: (021)64252707

网 址: [press.ecust.edu.cn](http://press.ecust.edu.cn)

印 刷 / 上海展强印刷有限公司

开 本 / 787mm×1092mm 1/16

印 张 / 14.5

字 数 / 375 千字

版 次 / 2011 年 4 月第 1 版

印 次 / 2011 年 4 月第 1 次

印 数 / 1-8000 册

书 号 / ISBN 978-7-5628-3013-9/H·1092

定 价 / 28.00 元

(本书如有印装质量问题,请到出版社营销部调换。)

## 编委会名单

主 编 许小明 Reika  
编 委 何蓓蕾 刘学敏 陈晓宇  
张若云 张海柱  
编 著 新世界图书事业部

## 前 言

由独立行政法人日本国际交流基金会和财团法人日本国际教育支援协会共同组织的日语能力考试,从1984年到2009年,已经在日本海外实施了26年,是目前国内最具权威的日语考试之一。2010年7月起,在全球各考点实施了全新形式的日语能力考试。

新世界图书事业部根据独立行政法人日本国际基金交流会、财团法人日本国际教育支援协会编著的《新日语能力考试指南 概要及问题集 N1、N2、N3》(『新しい「日本語能力試験」ガイドブック概要版と問題例集 N1、N2、N3』凡人社),对新日语能力考试进行了认真全面地研究与总结,于2010年9月编写了《新日语能力考试 N1 阅读强化训练》,为广大的日语学习爱好者以及正在为 N1 备考的考生提供了极为实用的参考资料。

本书对《新日语能力考试 N1 阅读强化训练》(2010年9月出版)的每一回进行了完整的解析,帮助考生查缺补漏,理解做错題的原因。

希望各位考生在完成本书10回的专项训练后,在阅读单项上有一个质的飞跃。

### 【本书内容与特点】

#### 阅读练习及解析

- 单元练习 10 回
  - ① 完全遵循新能力考试的题型结构出题。
  - ② 精选日本原版教材、小说、散文、媒体评论等名家名篇。
  - ③ 选文具备了实用性、抽象性、论理性等特征,帮助考生应对各类阅读文章。
- 解析透彻,掌握解题对策。
  - ① 解析中附每篇文章的中文概要,概括文章大意,帮助考生理解文章内容。
  - ② 对文章进行整体分析,指导答题技巧。
  - ③ 分析正确选项和错误选项,考生可对照自查,究明错误原因。

新世界日语 许小明

2011年3月

## 新日本语能力考试 N1 考试题目的构成

考试科目 (考试时间)		题型		题数	考查目的	
语言 知识 · 读解 (110分钟)	文字· 词汇	1	单词的读音	◇	6	考查汉字单词的读音
		2	正确单词的选择	○	7	考查单词在不同的语境中所表达的不同意思
		3	近义词的选择	○	6	考查意思相近的词语和表达方式
		4	正确用法的选择	○	6	考查出题单词在句子中如何使用
	文法	5	文法形式的选择	○	10	选择与出题内容相符的文法形式
		6	文章的组合	◆	5	组合用法正确、语意通顺的句子
		7	文章中的文法	◆	5	选择符合文章内容的文法
	读解	8	内容理解(短篇)	○	4	考查对文章内容的理解能力。阅读 200 字左右的说明文或指示文。话题包括生活和工作等各方面
		9	内容理解(中篇)	○	9	阅读评论、解说、随笔等 500 字左右的文章,考查理解因果关系或事物原由等的的能力
		10	内容理解(长篇)	○	4	阅读长度为 1000 字左右的解说、随笔或小说等文章。考查理解概要和作者观点等的的能力
		11	综合理解	◆	3	比较阅读几篇文章(合计 600 字程度左右)。考查比较综合的理解能力
		12	主张理解(长篇)	◇	4	阅读社论、评论等较抽象的、理论性的文章(1000 字左右)。考查掌握整篇文章的观点和论点的能力
		13	信息检索	◆	2	考查是否有能力从广告、宣传册、杂志、商业文件等素材(700 字左右)中找到所需的信息
听解 (60分钟)	1	课题理解	◇	6	听一段完整的文章,考查对其内容是否理解。(听懂解决具体课题所需的信息,能正确推断接下来该怎么做。)	
	2	重点理解	◇	7	听一段完整的文章,考查对其内容是否理解。(明确事先提示的必须听懂的内容,抓住要点听。)	
	3	概要理解	◇	6	听一段完整的文章,考查对其内容是否理解。(理解整篇文章所要表达的说话人的意图或主张等。)	
	4	即时应答	◆	14	听一些问题等简短发言,考查选择适当应答的能力	
	5	综合理解	◇	4	听一段较长的文章。考查对多个信息的比较、综合理解的能力	

【注】以上内容摘自独立行政法人日本国际基金交流会、财团法人日本国际教育支援协会编著的《新日本语能力考试指南 概要及问题集 N1、N2、N3》。

◇ 表示“旧能力考”虽然出现过,但略进行调整;

○ 表示与“旧能力考”相同的题型;

◆ 表示“旧能力考”没有出现过的新题型。



## N1 文法考试题型

考试科目	题型		题数	考查目的
读  解	8	内容理解(短篇)	4	考查对文章内容的理解能力。阅读 200 字左右的说明文或指示文。话题包括生活和工作等各方面
	9	内容理解(中篇)	9	阅读评论、解说、随笔等 500 字左右的文章,考查理解因果关系或事物原由等的的能力
	10	内容理解(长篇)	4	阅读长度为 1000 字左右的解说、随笔或小说等文章。考查理解概要和作者观点等的的能力
	11	综合理解	3	比较阅读几篇文章(合计 600 字程度左右)。考查比较综合的理解能力
	12	主张理解(长篇)	4	阅读社论、评论等较抽象的、理论性的文章(1000 字左右)。考查掌握整篇文章的观点和论点的能力
	13	信息检索	2	考查是否有能力从广告、宣传册、杂志、商业文件等素材(700 字左右)中找到所需的信息

## 新日本语能力考试 N1 的合格标准

级别	考试科目	时间	得分项目	得分范围
N1	语言知识(文字·词汇·文法)·读解	110 分钟	语言知识(文字·词汇·文法)	0~ 60
			读解	0~60
	听解	60 分钟	听解	0~60
	总计	170 分钟	总分	0~180

级别	总分		语言知识 (文字·词汇·文法)		读 解		听 解	
	得分范围	合格线	得分范围	标准线	得分范围	标准线	得分范围	标准线
N1	0~180	100 分	0~60	19	0~60	19	0~60	19



## 目次

第1回 模擬テスト	1
解答・解析	16
第2回 模擬テスト	24
解答・解析	39
第3回 模擬テスト	47
解答・解析	62
第4回 模擬テスト	71
解答・解析	85
第5回 模擬テスト	94
解答・解析	107
第6回 模擬テスト	116
解答・解析	130
第7回 模擬テスト	138
解答・解析	150
第8回 模擬テスト	158
解答・解析	171
第9回 模擬テスト	180
解答・解析	193
第10回 模擬テスト	201
解答・解析	214





## 第 1 回 模擬テスト

問題 1 次の(1)から(4)の文章を読んで、後の問いに対する答えとして最もよいものを、1・2・3・4から一つ選びなさい。

(1)

人生の目的を見失い、刹那的な喜びを求めて生きている人たちが、特に若者の間で増えています。そういう人々が何のため  
に仕事をするのかというと、レジャーや娯楽のための資金を稼ぐことなのです。しかしそれは、やがてむなしくなってしまうでしょう。「安易な」生き方は、はじめは気楽で楽しいかもしれませんが、結局はそれでは満足できず、みんなもつと高いレベルの目的を求めようになるはずで  
す。時代がどう変わろうとも、人間の本質は変わらないのです。

(稲盛和夫「成功への情熱」による)

1 筆者がここで言っている「人間の本質」とは何か。

- 1 人生の喜びを求めために働くこと
- 2 レジャーや娯楽のために貯金すること
- 3 人は常に高いレベルの満足を求めているということ
- 4 人はともすれば安易な生き方を選びがちだということ

(2)

ある人物が、心や身体に傷を負っている場合、その話題には最初から触れないでおこうという暗黙の了解ができる。老人は何度も同じ話をするものだが、聞き手はその話をさえぎることなく、最後まで聞くことが多い。それら「暗黙の了解」を、我々日本人は

「目配せ<sup>(注1)</sup>」以前の、「形に表れないノンバーバル・コミュニケーション<sup>(注2)</sup>」で完成させていく。「気配のようなもの」といっても良い。この感覚が欠如している人は「間が悪い」といわれて敬遠される。

(竹内一郎『人は見た目が9割』による)

(注1)目配せ: 目を動かして、意思を伝えたり合図をしたりすること

(注2)ノンバーバル・コミュニケーション: 言葉を用いないコミュニケーション

2 この文章で筆者が最も言いたいことは何か。

- 1 暗黙の了解として人の心を傷つける話は避けたほうがいい。
- 2 日本社会において場を察することのできない人は敬遠される。
- 3 言語を用いないコミュニケーションができない人が増えているのは残念だ。
- 4 日本社会では他人に対する「気配り」と「察する」文化が重視されている。

(3)

平成22年3月9日

ABC 株式会社

仕入部長 高橋信彦様

西田物産株式会社

営業部長 堀田弘

( )

拝啓 時下ますますご清祥<sup>せいしやう</sup>のこととお慶<sup>よろこ</sup>び申し上げます。平素は格別のお引き立てを賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、3月5日ご注文いただきましたVB 部品(500ケース)につきまして、お願いを申し上げます。当商品は各方面から予想以上のご注文があり、生産が間に合わないため、ご指定の納期までに納入不可能の旨、本日メーカーから連絡がありました。

誠に申し訳ございませんが、ご指定の納期を20日ほど延長願えないでしょうか。何とぞ実情をご諒察<sup>りやうさつ</sup>の上、ご了承賜りたくお願い申し上げます。

とりあえずお願いまで申し上げます。

敬具



3 この文書の件名として、( )に入るのはどれか。

- 1 納期遅れのお詫び
- 2 納期猶予のお願い
- 3 VB 部品の注文書
- 4 在庫切れのお詫び

(4)

梅雨の末期には南から湿った空気が流れ込みやすくなり、九州北部などで大雨が続いている。狭い地域を突然襲うゲリラ豪雨<sup>(注)</sup>の増加は、都市の上空に熱がこもるヒートアイランド現象が大きな原因とされる。猛烈な雨は、夏を通じて起こりやすくなり、梅雨が明けても油断できない。急な増水を防ぐため地下に巨大な水路やプールを造っても、ゲリラ豪雨の封じ込めには限界がある。施設の整備だけに頼るのではなく、必要な情報を的確に伝えて被害を減らす、しなやかな防災対策が求められる。

(2010年7月15日付日本経済新聞より改)

(注)ゲリラ豪雨: 予測が困難な、突発的<sup>とっぴつてき</sup>で局地的な豪雨

4 ゲリラ豪雨について、文章の内容と合っているものは何か。

- 1 ゲリラ豪雨に備えて、的確な情報伝達が急務となっている。
- 2 ゲリラ豪雨による増水を防ぐために、新しい道路設備を作るべきだ。
- 3 ゲリラ豪雨の増加はヒートアイランド現象を引き起こす恐れが高い。
- 4 都市部は梅雨明けしてからゲリラ豪雨に見舞われる可能性が高い。

問題2 次の(1)から(3)の文章を読んで、後の問いに対する答えとして最もよいものを、1・2・3・4から一つ選びなさい。

(1)

小学校四年生のある担任教師は、<sup>しっけ</sup>躰を成功させるために「先生は怒らない。注意は一回で聞く」と教室の壁に張り出した。企業の中にも、①このやり方に賛意を称するリーダーがいるのではないだろうか。

そのような教師や管理者はどんな行動理論を持っているのだろうか。

一つは、部下(生徒)が気を悪くしたのでは、反発心を起こして、臍に素直に従わなくなるから」という行動理論ではないだろうか。

(中略)

人間は感情の動物と言われるように、( ② )。それが証拠に、煙草はやめたほうがよいと理性では分かっている、<sup>たばこ</sup>「だがやはり吸いたい」という感情の力に負けて、なかなか禁煙できないでいる人が多いのではないか。

したがって、自分が違反していることを分かっている違反している人間に、違反は悪いことだと、気を悪くさせないように話して、理性で何度分からせてみようとすると、違反行為はなかなかやまないのである。

では「話す」と「叱る」はどう違うのだろうか。それは「叱る」とは、感情に訴えて行動変化を起こさせるということである。

「叱られるのはいやだ、怖い」という不快感、不安感を湧かせて、その感情の力で行動変化を起こさせるということである。

(池上龍一『知ると仕事が楽しくなる!』による)

5 ①「このやり方」とあるが、この行為の目的として、説明が正しいのはどれか。

- 1 重要なことを一回しか言わないことで部下(生徒)の注意を引き起こそうとする。
- 2 自分の意見をはっきり言うことで、部下(生徒)の信頼を得ようとする。
- 3 部下(生徒)の気持ちを大事にして彼らが喜ぶ言い方をする。
- 4 部下(生徒)の機嫌を損わないことを前提に自分の意見に従わせようとする。

6 ( ② )の中に入れる言葉として正しいのは何か。

- 1 感情にもろい人は相手の気持ちを悪くさせるようなことはしないだろう
- 2 理屈では説明できないことも感情に求めればすぐに理解できる
- 3 人の行動に影響を与えるものは、理性よりも、感情の方が圧倒的に強いのである
- 4 感情的になると、物事を客観的に分析することができなくなってしまう



7 筆者は「叱る」効果について、どのように述べているか。

- 1 人の感情に影響を与えることで、相手の心理負担を高め、行動に変化を起こさせる。
- 2 相手が反発心を起こし、従わないかもしれないので、叱ってもなかなか効果がない。
- 3 違反した人に懲罰を与えることで、自分の態度をはっきり示すことができる。
- 4 相手に対する不快感を呼び起こして、二度と同じことをしないように戒める。

(2)

世の中はなかなか自分の思うようにならないというけれど、見方によっては、①自分の思うようにならないほうがいいのかもかもしれない。

人間は神様ではないのだから、いつも一番正しい考えを持っているとは限らないわけで、ときには自己に執<sup>しゅう</sup>し、他人にとられる。そんなとられた考えを世の中に押しつけてみたところで、それで通るはずがない。

しかし②世の中もなかなか寛大なところがあるから、ある程度までは受け入れてくれる。それでいい気になって調子に乗る。そのへんで止めておけばいいものかと思っているうちに、案の定ゆきづまる。ゆきづまってみて、世の中はなかなか自分の思うようにならないと嘆く。もともと自分の考えがとられているのだから、③嘆くほうがムリである。

もしも自分の思うようになっていたら、とりかえしのつかないことになっていたかもしれない。自分だけならいいけれど、他人にもたいへんな迷惑をかける。

世の中はいい先生である。寛大なところはあるが、最後には正邪<sup>せいじや</sup>をちゃんと弁<sup>わか</sup>まえてくれる。だから、馬鹿にしてはいけない。すじみちの通ったことはやはり通してくれるのである。

なぜ自分の思うようにならないか、もう一度よく考えてみたいものである。

(松下幸之助『大切なこと』による)

8 ①「自分の思うようにならないほうがいい」とあるが、筆者がこのように考えている理由は何か。

- 1 自分の思い込みで物事を押し通そうとすると、結局他人に嫌われることになるから
- 2 物事がすべて自分の思い通りになったら、時には大変なことになってしまうから
- 3 人間は神様ではなく、自分の思うようになることはあまりないから
- 4 人々は他人の考えに固執するとき、よく間違った判断を下すから

9 ②「世の中もなかなか寛大なところがある」とあるが、何について寛大なのか。

- 1 自分の考え
- 2 他人のやったこと
- 3 自分のやったこと
- 4 他人の考え

10 ③「嘆くほうがムリである」とはどういう意味か。

- 1 自分の考えが正しくないので、失敗しても嘆くしかない。
- 2 自分の望みどおりにいかないことは、嘆いても仕方がない。
- 3 失敗の原因は自分にあるので、他人のせいにしても無理だ。
- 4 そもそも物事の考え方、やり方が正しくないので、嘆く立場ではない。

(3)

最近、テレビやインターネットなどメディアがめざましい発達を遂げています。情報に触れる機会が多くなったため、多くの人の中で感覚系の学習が加速度的に進んでいるように思います。

インプットの機会が増えたということは、実に素晴らしいことです。しかし、毎日の入力量に比べて、出力するチャンスはあまり変わっていないケースが多いのではないのでしょうか。

もちろん「私は、毎日の仕事ですごいアウトプットをし続けている」という人もいるでしょう。しかし、脳とは常にインプットを求める存在です。テレビやネットを漠然と見ている最中さえも、無意識のうちにさまざまな情報を入力しています。ですから、日常的にそれに見合ったアウトプットを意識的に行わないと、どうしても入力過多に陥ってしまいがちなのです。

①これを「インターネットの発展がもたらした大きな弊害だ」と片付けるのは簡単です。しかし僕自身はインターネットには「様々な情報に触れる機会、つまり脳が喜ぶ学習のチャンスが増えた」という恩恵のほうが大きいと思っています。

それに、いまさら高度情報化社会を変えることなんてできません。ましてや、無視するなんて、もってのほかでしょう。いまさらインターネットを無視しても、仕事はもちろ



んのこと、普段の生活も成り立たなくなってしまう。

大切なのは、周囲の環境を自分に変えることではなく、周囲に合わせて自分を変えることです。つまり、自然に感覚系の「入力」が多くなってしまいう現代においては、意識的に運動系による「出力」をすることがより重要になってくるのです。

(茂木健一郎『脳を生かす仕事術』による)

**11** メディアの発展が人々に与えた影響として、文章の内容と合っているものは何か。

- 1 毎日の入力量は増えているのに対して、出力するチャンスは減ってきた。
- 2 様々な情報に触れる機会が増え、出力より入力のほうが多くなってきた。
- 3 仕事上、アウトプットすることが多くなり、インプットは少なくなってきた。
- 4 インターネットが日常生活に浸透した高度情報化社会は、情報が氾濫している。

**12** ②「これ」は何を指しているか。

- 1 無意識のうちに情報を吸収すること
- 2 意識的にアウトプットすること
- 3 脳の入力量が出力量を上回ること
- 4 脳がインプットを求めること

**13** 筆者の主張と合っているものはどれか。

- 1 インターネットの普及に伴って、情報に触れるチャンスが増え、現代人の脳もより活性化している。
- 2 メディアの発達で脳の入力チャンスが増えるのは喜ばしいことだが、それと同時に意識的に出力を増やすことも重要だ。
- 3 脳は常にインプットを求める存在であるので、情報化社会の到来とともに、脳の発達も加速度的に進んでいる。
- 4 現代社会においては情報が欠かせないので、脳のインプットがより大切になってきた。



問題 3 次の文章を読んで、後の問いに対する答えとして最もよいものを、1・2・3・4から一つ選びなさい。

予定がないと不安になる人というのがある。先日コーヒーショップで見かけた女性がそうだった。彼女はバッグの中から赤革の手帳を取り出してページを開き、しばらくの間眺めていた。そして突然携帯電話で片っ端から友達に電話をかけ始め、飲み会や食事やデートの約束をとりつけて次々に予定を書きこんでいった。電話をやめ、また手帳を見入る。どうしても予定の埋まらない一日があるようだ。

ぽっかりと空いた空白の一日——来週の木曜日。木曜日の空白が、彼女には耐えがたいものだったらしい。しまいにはいきつけの美容院に電話をかけ、この間かけたデジタルパーマがうまくかかっていないのもう一度かけ直してほしい、ついでには自分は来週の木曜日しか空いていない、何時でもかまわないから木曜日に予約を入れてほしい、と主張し、とうとう木曜日の予定を手に入れた。彼女は真っ黒に埋められたページをしばし見つめ、満足そうにほほえんだ。そして手帳をバッグにしまって立ち上がり、パーマがうまくかからなかった髪を指先でくるくるねじりながら階段を登っていった。①こうして彼女の寿命は、また一週間延びたのだった。

一方、私の手帳は真っ白だ。厳密に言うと、昨日までの過去にはいろいろ書かれているが、今日から先はまるで白紙。未来には何も書かれていない。そんな話を友人にしたら、「手帳を持つ意味あるんですか？」と核心をつかれた。「いや、過去を書くためにもやっぱり手帳は必要なんですよ」としどろもどろ(注1)に答えると、「だったら日記を書けばいいのでは？」とさらに痛いところをつかれる。「日記は日記帳に書いていますよ」というと、「じゃあますます手帳は必要ないじゃないですか」ととどめを刺された(注2)。

②私には手帳が必要なのか。そういわれてみたら思いあたる節はある。壁にかけられたカレンダーは何か月も前で止まっているし、手帳を持つのは、暇な人間だと思われたくないという世間体のため。なくてもまったく不自由はしない。

コーヒーショップで見かけた女性は、予定がないことを何よりも恐れていた。それを私は空白恐怖症のようなものだと考えている。一人になってしまうと誰かに電話をかける。電車に乗れば携帯電話でメールを打ったりインターネットをしたりゲームをしたり。携帯電話という便利なおもちゃを手にとると、驚くほど時間をつぶせるから、空白の時間はどんどん消えてゆく。だからたまに空白の時間に直面すると、( ③ )。



しかし私には彼女は羨ましくも思えた。私は逆に空白がないことが不安でたまらない。予定は常に現在を束縛し、それに向き合いたくないという自分の弱さを突きつけてくる。④「予定があると不安」より、「予定がないと不安」のほうが、よほどまともに思える。

彼女を真似て私も手帳を開いた。しかしいくら見つめても、予定は何も思い浮かばなかった。

(星野博美『迷子の自由』による)

(注1)しどろもどろ: 言葉の使い方や話の内容などが乱れているようす

(注2)とどめを刺す: 決定的な打撃を与える

14 ①「こうして彼女の寿命はまた一週間延びたのだった」とあるが、筆者のどんな気持ちが込められているか。

- 1 予定がないと生きられない彼女の生き方を皮肉っぽく思う気持ち
- 2 寿命はあと一週間しか残っていない彼女に深く同情する気持ち
- 3 空白の一日でさえ全部埋め尽くした彼女に対する批判の気持ち
- 4 限られた時間に全部予定を入れて、充実して過ごす彼女を羨ましく思う気持ち

15 ②「私には手帳が必要ないのか」とあるが、筆者にとって手帳は何を意味しているか。

- 1 過去のを記す道具で、日記と同じようなものだ。
- 2 カレンダーみたいなもので、時間が経つのを知らせる存在だ。
- 3 暇な人間だと思われたくないために所持しているだけで、なくてもいいものだ。
- 4 携帯電話のように、空白の時間を埋めるのに役立つものだ。

16 ( ③ )に入れる言葉として、正しいのはどれか。

- 1 なんだかほっとした気がする
- 2 どうしていいかわからなくなる
- 3 なんとかしてそれを十分にいかそうとする
- 4 なんとなく解放された感じでリラックスできる